

平成27年度

# 事業報告書

平成27年4月 1日から

平成28年3月31日まで

公益財団法人沖縄県学校給食会

<管理部門>

I 組織（平成28年3月31日現在）

役員、評議員、職員および各種委員会

1 役員等

評議員	理事	監事
10	7	2

2 職員（ ）内数値は嘱託・非常勤人数

事務局長	総務課	物資課	業務課	食品検査 食育支援室	委嘱職員
1	4	8（1）	3（1）	1（3）	運転手 12 作業員 6

3 各種委員会

物資委員会	パン品質調査会	物資流通情報 モニター
26	12	7

4 役員等に関する事項（平成28年3月31日現在）

（1）評議員 定数：8名以上12名以内 現在数：10名 任期：4年

役職名	氏名	所属名 職名
評議員	平良 亮	浦添市教育委員会学校教育課 指導係長
評議員	宜保 律子	那覇市立金城小学校 栄養教諭
評議員	仲程 直毅	那覇市教育委員会学校給食課 課長
評議員	森山 克子	国立大学法人琉球大学教育学部 講師
評議員	今井 朗	（一社）沖縄県PTA連合会
評議員	又吉 宗慶	（元）沖縄県学校給食会 理事長
評議員	大田 守男	（元）沖縄県学校給食会 常務理事
評議員	比嘉 克己	浦添市立学校給食共同調理場 所長
評議員	金城 敦	南風原町立学校給食共同調理場 所長
評議員	川畑 三矢	沖縄県教育庁保健体育課学校安全・給食班 班長

## 平成27年度事業報告

(2) 理事 定数：6名以上9名以内 現在数：7名 任期：2年

役職名	氏名	所属名 職名
理事	狩俣 好則	沖縄県教育庁保健体育課 課長
理事	東 健策	浦添市立浦城小学校 校長
理事	石川 謙	(一社) 沖縄県 PTA 連合会 副会長
理事	上原 満	うるま市立学校給食センター第一調理場 所長
理事	新城 文哉	J Aおきなわ本店特産加工部 部長
理事	前原 昌直	公益財団法人沖縄県学校給食会 理事長
理事	屋嘉比 守	公益財団法人沖縄県学校給食会 常務理事

(3) 監事 定数：2名以内 現在数：2名 任期：2年

役職名	氏名	所属名 職名
監事	古堅 宗男	(一社) 沖縄県 PTA 連合会 事務局長
監事	大嶺 雅紀	沖縄県立那覇商業高等学校 校長

(4) 役員等及び職員の異動

役職名	氏名	異動年月日	摘要
理事	座安 純一	平成27年6月25日	任期満了により退任
理事	狩俣 好則	平成27年6月25日	就任
理事	東 健策	平成27年6月25日	重任
理事	石川 謙	平成27年6月25日	重任
理事	上原 満	平成27年6月25日	重任
理事	新城 文哉	平成27年6月25日	重任
理事	前原 昌直	平成27年6月25日	重任
代表理事 (理事長)	前原 昌直	平成27年6月26日	選定
理事	屋嘉比 守	平成27年6月25日	重任
業務執行理事 (常務理事)	屋嘉比 守	平成27年6月26日	選定
監事	古堅 宗男	平成27年6月25日	重任
監事	大嶺 雅紀	平成27年6月25日	重任
評議員	太田 守克	平成27年6月25日	辞任
評議員	吉本真紀雄	平成27年6月25日	辞任
評議員	根川 文枝	平成27年6月25日	辞任
評議員	川畑 三矢	平成27年6月25日	就任
評議員	比嘉 克己	平成27年6月25日	就任
評議員	宜保 律子	平成27年6月25日	就任

## 平成27年度事業報告

### Ⅱ. 会議

#### 1 理事会

第1回通常理事会：平成27年6月3日

第1号議案 平成26年度事業報告・計算書の承認

第2号議案 定時評議員会の招集の決定

第3号議案 学校給食会職員の表彰について

報告事項 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

第1回臨時理事会：平成27年6月26日

第1号議案 代表理事（理事長）の選定

第2号議案 業務執行理事（常務理事）の選定

第2回通常理事会：平成28年3月11日

第1号議案 平成28年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

第2号議案 評議員会の招集の決定

第3号議案 公益財団法人沖縄県学校給食会人事等規程及び公益財団法人沖縄県学校給食会職員服務規程の一部を改正する規程

第4号議案 公益財団法人沖縄県学校給食会事務局人事

報告事項 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

#### 2 評議員会

定時評議員会：平成27年6月25日

報告事項 平成26年度事業報告

第1号議案 平成26年度決算報告書の承認

第2号議案 評議員3名選任

第3号議案 理事7名選任

第4号議案 監事2名選任

その他 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

第1回臨時評議員会：平成28年3月16日

報告事項 平成28年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

その他 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

#### 3 監事会：平成27年5月28日

平成26年度理事の職務執行の監査

平成26年度事業報告及び決算内容監査

### Ⅲ その他

## 平成27年度事業報告

1 HACCPの手法を取り入れた、本会「取扱物資の安全確保に関する衛生管理マニュアル」を1年余の時間をかけ27年8月に完成し運用を開始した。このことでより安全な学校給食用物資の供給につながるものとする。定期的に内部監査を実施し、更に良いものに改正して本会の衛生管理の向上に努めたい。

2 委託加工工場検討委員会を立ち上げ、離島や零細な工場の辞退等に対応するため検討を行った。この結果、主食の部分は極力本会が供給すべきとの基本方針を打ち出した。

9月末で、本島北部の工場が再選定を受けず終了することとなったが、伊是名村については新たに工場を選定し供給、本島北部地区については、製造を中部地区の工場に委託し、学校等へは本会が配送する事で継続供給する事ができた。

また、12月末で離島の工場が辞退したが、パンは既存の別工場に、米飯は新たな工場を選定し供給することができた。

＜事業活動＞

I 学校給食支援事業（公益目的事業1）

1 学校給食用物資の安定供給に関する事業

（1）取扱物資の計画的確保と安定供給

○学校数及び給食人数

区分	ミルク給食	完全給食				合計
		幼稚園	小学校	中学校	高校定時	
教育課程	幼稚園	幼稚園	小学校	中学校	高校定時	合計
校数	174	96	273	155	7	705
人数	13,667	4,510	104,066	55,024	2,714	179,981

○給食用物資供給先

	共同調理場数	単独調理場数	計
27年度	70	65	135

○取扱物資数

区分		品数	主な商品
一般物資	常温物資	257	県産パ <sup>〃</sup> イ缶詰、醤油、黒糖、乾物他
	冷凍物資	228	かぼちゃ、ほうれん草、県産もずく他
基本物資		31	牛乳、精米、米飯、脱脂粉乳他

○物資別供給金額

物資名	平成27年度	平成26年度	増減額
一般物資	1,358,492,870円	1,296,083,740円	62,409,130円
基本物資	2,991,595,814円	2,966,387,264円	25,208,550円
計	4,350,088,684円	4,262,471,004円	87,617,680円

○基本物資別使用量

物資名	区分	平成27年度	平成26年度	増減
小麦粉	パン給食用	251,636 kg	262,459 kg	▲10,823 kg
	麺用	85,804 kg	79,704 kg	6,100 kg
	副食用	13,325 kg	12,875 kg	450 kg

## 平成27年度事業報告

	小計	350,765 kg	355,038 kg	▲4,273 kg
脱脂粉乳	パン用その他	12,075 kg	10,688 kg	1,387 kg
米穀	米穀用(精米)	1,636,624 kg	1,653,587 kg	▲16,962 kg
パン副原料	砂糖他	36,689 kg	37,944 kg	▲1,254 kg
牛乳	県産生乳	32,858,607 個	33,511,686 個	▲653,079 個

### ○冷凍食品合同選定会（九州8県）

冷凍食品合同選定会は年3回開催。本年度は5月21日に第2学期取扱分、9月17日に第3学期取扱分、12月17日に第1学期取扱分の選定を行うため、市町村給食関係代表者、栄養教諭、栄養職員が参加した。選定された物資19品目を九州全ての県で取り扱う共通選定物資として選定、確保した。

### ○中国・九州地区共同購入会議

中国・九州地区共同購入会議は年4回開催。本年度は7月23日、10月16日、12月3日～4日、平成28年2月17日～18日に本会物資課職員が参加した。選定された物資596t、48品目を計画的に確保した。

## (2) 教育の機会均等

○本会が取り扱う物資は離島含めた県内すべてのセンター、共同調理場、学校等へ供給。商品の送料負担はなく、全県地域に同一商品を同一価格で供給している。

## (3) 基本物資（パン・米飯・麺・牛乳）加工委託事業

区分	事業者数	備考
パン・米飯	17	うち3はパン事業のみ 1は米飯のみ
麺	5	
牛乳	6	
計	28	

○経営規模が零細な加工委託工場に対し、適正な品質を堅持するため本会が設備・備品などを無償貸し付等で支援。本年度実績は5件、助成額678,905円。

## (4) 適正価格での供給

○共同購入した実績は、7月会議（10品、70t）、10月会議（9品、63t）、12月会議（17品、148t）、2月会議（47品、305t）であった。

○保護者負担軽減の観点から平成27年度は下記のとおり助成した。

区分	平成27年度	平成26年度	増減
米飯	20,625,318円	106,056,822円	▲85,431,504円
精米	6,951,805円	34,538,360円	▲27,586,555円
計	27,577,123円	140,595,182円	▲113,018,059円

## 平成27年度事業報告

- \*助成単価は米飯、精米とも10kg当たり168.50円で実施。
- 物資流通情報モニター委員7名に学校給食会以外の問屋から平成27年の間に購入した商品を記入してもらい、品質に対して仕入値が適正であるかの判断の材料とした。
- 一般市場の販売価格動向については本会営業担当者にて4月から同年9月までの期間において量販店、業務用スーパー等の動向調査を実施した。

### (5) 公正な物資選定

- 物資委員会は年3回開催。本年度は6月30日に第2学期取扱分、10月27日に第3学期取扱分、平成28年2月15日に第1学期取扱分の選定を行うため、学校給食実施校代表、県教育委員会、県環境保健部、衛生機関、市町村給食関係代表者、栄養教諭、栄養職員、学識経験者、PTA代表等が出席、開催した。第1回物資委員会(4品)、第2回物資委員会(6品)、第3回物資委員会(6品)を持ち帰り品及び給食会推奨品として選定、確保した。

## 2 学校給食物資の安全性確保及び衛生管理に関する事業

### (1) 取扱物資の安全性確保

#### ア. 基本物資

- 米穀のDNA鑑定、残留農薬検査・カドミウム検査を日本穀物検定協会へ14回依頼実施し、検定料450,360円となった。
- 小麦粉の検定を日本穀物検定協会へ11回依頼実施し、検定料242,439円となった。

#### イ. パン・麺・牛乳

- パン品質調査会は7月2日、9月17日、平成28年2月17日に開催し、県内の栄養教諭、栄養職員が参加した。参加者は外部講師の指導のもとパン委託加工業者のパン品質判定を行い、その結果は広報誌、ホームページで情報を開示した。
- 牛乳の細菌検査(抜取検査)を7月14日、12月16日、平成28年3月9日に計18検体実施した。
- パンの水分測定、細菌検査(抜取検査)を7月2日、平成28年2月17日に計41検体実施した。
- 麺の細菌検査(抜取検査)を6月30日、11月24日、平成28年2月15日に計45検体実施した。

#### ウ. 一般物資

- 中国九州地区共同購入物資の農薬検査及び放射能検査を一般財団法人日本冷凍食品検査協会に依頼。検定料は860,053円であった。
- 九州地区冷凍食品共通選定品(第1学期分、第2学期分、第3学期分)の農薬検査及び放射能検査を一般財団法人日本冷凍食品検査協会に依頼。検定料は158,625円であった。



## 平成27年度事業報告

- 本会検査室で行う自主検査（細菌検査）は 1,120 検体を検査した。
- 放射能検査（外部委託）は 16 検体を検査し、検定料 172,800 円であった。

### エ. 緊急時の危機管理と保険

- 本会では食中毒などの緊急時に対応するため「学校給食会物資取扱危機管理マニュアル」に沿った対応が出来るよう、事務所内に掲示し、職員で読み合わせ等実施した。また、万が一の事故に備えて「食品営業賠償共済保険」（対人賠償 1 人 1 億円、1 事故 10 億円）に加入した。

### オ. 取扱物資の情報と検査結果の開示

- 本会が取り扱う物資は商品名、包装規格、価格、栄養成分、アレルギー表示、商品説明を記載した「平成 27 年度取扱物資案内書」を作成し、離島を含めた県内すべてのセンター、共同調理場、学校等へ配布した。
- 本会検査室で実施した検査内容及び検体数等は下記のとおり。またその結果については、広報誌等で情報を開示した。

項 目	内 容	
細菌検査	一般物資（取扱物資）	1, 120 検体
	選定物資（行事食サンプル含む）	72 検体
	基本物資（ミルク）	18 検体
	基本物資（パン）	41 検体
	基本物資（めん）	45 検体
理化学検査	ミルク成分規格試験、VBN	63 検体
事故品検索	基本物資	33 件
	一般物資	121 件
調理場からの依頼	事故品・混入異物等の調査	57 件
	自主検査のための検査室開放	0 件
委託工場の衛生指導	工場調査および衛生指導	34 件
	自主検査のための検査室開放	0 件

## (2) 学校給食用物資の衛生管理事業

### ア. 加工委託選定工場

- 検査室において選定調査 23 件、巡回指導 8 件、立ち入り調査 3 件実施した。また、検査室の開放は年間を通して実施した。
- 7月29日に開催された沖縄県学校給食パン協同組合主催の「平成27年度衛生講習会」が本会大会議室で開催された。参加人数75名に対し、本会検査室職員が「異物混入事例について」の講師を務めた。
- 本年度は衛生管理ポスター作成は無し。
- 本年度の検査器具の貸与は 1 件。

## 平成27年度事業報告

### イ. 一般物資関係工場

- 計画的に工場視察を行い不適切な部分については改善指導を実施。本年度は、県外10社の工場を視察した。
- 検査室において改善指導の実施は無し。
- 検査室において立ち入り調査、衛生点検及び一般物資関係工場の検査室利用の実績は無し。

### ウ. その他

- 全職員毎月1回の検便及び年1回の健康診断を実施した。その検便結果は毎月の結果を19センターへ報告した。選定工場に対しても同様な検便と健康診断の実施を指導した。
- 全職員および委託職員を含め10月から2月の間にのノロウイルス検査を実施した。
- 全職員のインフルエンザ予防接種費用の半額助成を実施した。

## 3 学校給食の普及充実及び食育推進の支援に関する事業

### (1) 学校給食の普及充実事業

#### ア. 各種研修・講習会等の事業

- 「新規採用学校栄養職員研修会」(主催：県立総合教育センター)が5月21日、22日、本会会議室にて開催。新規採用職員5名に対し、本会職員が、「学校給食用物資と調理場における物資管理について」、「細菌検査を活用した衛生管理について」、「栄養管理の実際～年間献立表の作成について」の講師を務めた。
- 栄養教諭・学校栄養職員を対象として食の指導など資質向上のため講師を招聘して「栄養教諭・学校栄養職員講演会」(主催)を5月28日に本会大会議室で開催。参加者約80名、講師の大宜味学校給食センター栄養職員による「これからの栄養士に伝えたいこと」の講演があった。
- 栄養教諭・学校栄養職員を対象として調理技術・資質の向上を図るとともに、学校現場における指導に役立てるため「学校給食調理講習会及び研修会」(主催)を7月28日、本会調理室・大会議室にて開催した。参加者約50名、調理講師にベジフルマン代表シニア野菜ソムリエによる「島野菜の上手な活用法」の実演と、研修会の講師にうるま市立具志川東中学校校長の講演がなされた。
- 学校給食調理従事者の調理技術の研鑽と意欲の向上に資するため「地場産物を活用した学校給食献立発表会」(主催)を7月27日、本会調理室・大会議室にて開催。1チーム3名で9チームの計27名が、地元の食材を使用した献立の調理、発表を行った。審査の結果、最優秀賞、審査員特別賞、優秀賞2チーム、計4チームが受賞となる。
- 沖縄県高等学校PTA連合会と共催し、保護者・生徒・教職員を対象に学校給食を通して食の知識を深めるための「PTA食育研修会」を8月8日に本会調理室にて開催した。参加者50名、講師の琉球調理師専修学校の先生による「親子で弁当講

## 平成27年度事業報告

習会」を開催し、子どもでも手軽に弁当が作れることを体験の場とする「子どもも手軽に作れる親子弁当作り」の調理実習がなされた。

- 県教育委員会が主体に「第15回沖縄県健康教育研究大会」（主催）を平成28年2月5日にうるま市民芸術劇場 響ホールで開催した。特別講演に兵庫県こころのケアセンター副センター長兼研究部長による「学校における子供の心のケア」～サインを見逃さないために～の演題で講演した。分科会は3部会で発表が行われた。

### イ. 衛生管理支援事業

- 県教育委員会と共催し学校給食調理場所長、栄養教諭等、調理従事者を対象に「衛生管理（細菌検査）実技講習会」（主催）を5月14日、15日に本会にて開催した。本年度は中頭地区対象の12調理場24名が参加。初日は本会検査室係長及び嘱託員による細菌培養実技指導、沖縄県環境科学センター技師による「学校給食における衛生管理について」の講義、二日目は細菌検査結果の発表等が行われた。

- 栄養教諭等への検査器具の無償貸与及び検査室の開放を行う「学校栄養教諭等衛生管理支援事業」及び各調理場等における食材、食器具等の細菌検査残留試験を行う「学校給食調理場衛生管理支援事業」を通年で実施。学校栄養教諭等衛生管理支援事業の実績は検査器具貸出27件。内訳は手洗フェッカー15件、ATP測定器10件、簡易心卵器2件。学校給食調理場衛生管理支援事業は実績なし。

- 本年度の学校給食調理場における異物混入等の調査依頼は57件、自主検査のための検査室開放は0件であった。

- 「県立学校給食調理及び衛生管理講習会」（共催：県教育委員会）を8月11日に本会調理室・大会議室で開催された。参加者約70名、調理講師にヘルスプランニングカエの代表者による「琉球料理」、衛生管理講師に沖縄県環境科学センター副参事による「学校給食における衛生管理の実際とその対策」、県教育庁保健体育課指導主事による「衛生管理と食物アレルギー対応指針について」の講習がなされた。

### ウ. 広報活動

- 広報誌「うちなー」は第93号（1,000部）を7月、第94号（1,000部）を11月、第95号（1,000部）を平成28年1月に発行した。

- 本会の業務内容等の情報提供をホームページで随時更新した。

- 本年度においても学校給食に関するリーフレット、パンフレット並びにパネル等は学校等関係先へ随時無償貸出を実施した。

- 本年度のリーフレット、パンフレットの印刷実績は「よい食事」、「こんにちは学校給食おきなわ」、「朝ごはんをたべよう」、「学校給食だーいすき」を各1,000部。

- パネルの貸出実績は12件。

- 沖縄県教育委員会と共催し学校給食の意義や役割等について保護者や県民の理解と関心を高めるため、平成28年度学校給食週間にあわせて平成28年1月18日～22日に「学校給食展」を開催した。開催内容は、県庁1階県民ホールで学校給食の歴史変遷やパネル展示及び学校給食のメニューを県庁地下1階食堂で提供し必要な資料や食材を提供した。

## 平成27年度事業報告

### 工. 図書室の開放

○本年度の専門書籍貸出 41 件、ビデオ等貸出 9 件であった。

### オ. 関係団体への助成

○本年度の助成額は 1,710 千円であった。

団 体 名	助成額
沖縄県学校栄養士会	650,000 円
沖縄県学校給食研究協議会	150,000 円
沖縄県高等学校給食研究協議会	150,000 円
特別支援学校給食研究協議会	150,000 円
共同調理場連絡協議会	100,000 円
食習慣改善実践事業（県学校給食研究協議会指定研究校） ①普天間小学校②中城中学校③宮古特別支援学校	270,000 円
学校給食普及充実事業（県教育委員会指定研究校） ①知念中学校	90,000 円
沖縄県健康教育大会負担金	150,000 円

### カ. 本会施設の開放

○本会の調理室及び会議室等を学校給食関係者及び学校教育関係団体等へ無償貸出を行い、利用実績は 149 回であった。

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	計
会議室	36回	42回	20回	19回	117回
調理室	8回	12回	7回	0回	27回
資料室	0回	0回	5回	0回	5回
計	44回	54回	32回	19回	149回

## (2) 食育推進の支援事業

### ア. シンポジウム、研修・講習会の開催

○沖縄県教育委員会、沖縄県 PTA 連合会、沖縄県学校栄養士会、沖縄県学校給食研究協議会と共催し毎年8月実施の「食育シンポジウム」を、「生涯にわたって心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ食育の推進」～うりひゃー・でーじなとん！でできることから始めよう～をテーマに掲げ、8月9日に宜野座村立文化センタ（がらまんホール）で開催。基調講演は帝京大学スポーツ医科学センター助教授の「賢く食べて勝つ」～毎日の食で、なりたい身体を手に入れよう～、シンポジウムでは医師、栄養士、保護者より発表が行われ、来場者数約220名であった。

○沖縄県学校栄養士会と共催し「食と子どもの健康展」を7月4日にサンエー経塚シティー、10月3日にイオン名護店にて開催した。台風接近のため、北部地区は延期に、中頭地区は中止となった。各ブースでは学校給食の行事食など分かりやすい

## 平成27年度事業報告

写真や実物付きで説明し、学校給食の理解と食育の重要性をアピールした。

- 「学校栄養士による家庭・地域と連携した食育実践講座」は本島4地区の国頭、中頭、那覇、島尻と、宮古、八重山及び特別支援学校で計10回開催。対象者は各地区の児童生徒と保護者で、参加延人数306名であった。

開催地区	開催日	開催場所	テーマ	参加人数
北部	10月31日 (土)	伊平屋中学校	身近な食材を使ったバランス 良い弁当作り	36名
中部	9月26日(土)	与勝緑ヶ丘中学校	忙しい朝に！親子で作ってみよう♪ 自家製フリージング食材・ 常備菜	40名
	12月12日 (土)	北中城村島袋小学校	郷土料理を作ろう	20名
那覇	7月31日(金)	久米島清水小学校	給食メニューで一汁三菜	20名
	10月10日 (土)	首里地区	給食メニューで一汁三菜	60名
島尻	10月31日 (土)	南風原小学校	料理の基本を知ろう！（一汁三菜）	30名
	2月16日(火)	渡名喜中学校	学校給食をヒントに栄養満点お 弁当で感謝の気持ちを伝えよう	20名
宮古	11月22日 (日)	宮古島市城辺小学校	地場産物を使った給食献立を作 ろう	26名
八重山	10月3日(火)	西表 上原小学校	身近な食材を使ったお弁当メニ ューを作ろう	24名
特別 支援	10月20日 (火)	西崎特別支援学校	地域の食材を使って、生活を豊 かにする食事をしましょう	30名

### イ. 食育推進のための教材等の貸出事業

○本年度の教材等の貸出回数は、パネル・フード等20回、琉球漆器17回、バイング食器11回であった。

○本県独自の食文化を子どもたちに伝えることで、地域への関心を高め、生命を育む自然への畏敬の念や郷土を愛する心を養うことを趣旨に平成28年食育カレンダーを県学校給食栄養士会と共同で作成。学校給食関係者等へ2,000部配布した。

### ウ. 地産地消の推進

○県産米は、本会年間玄米使用量1,812tのうち約5%にあたる100tをJA沖縄から購入し、県内児童生徒へ供給した。

○牛乳は、県産生乳100%を県内児童生徒へ供給予定だったが、9月～11月の3か月のうち18日は生乳不足のため年間32,858,607本の約4%にあたる

## 平成27年度事業報告

1,468,404 本熊本県産生乳を供給した。

○その他に、JA沖縄を通じて中国九州地区 12 県の学校給食会にパイン・黒糖を供給し、その内パイン18,450 ㎏、黒糖6,400 ㎏を県内の学校給食へ供給した。また、西表産黒米を使用した黒米粉パン、県産黒糖を使用した黒糖パン、県産紅芋を使用した紅芋パン、県産モズク、パパイヤ等県産素材を使用して県内加工メーカーで商品化した約 40 品目（年間 326,316 ㎏、金額 173,581 千円）を県内児童生徒へ供給した。